



第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023小松市プレイベント開催！

国内最大の文化の祭典まであと1年！プレイベントで盛り上がりよう！

問い合わせ 文化振興課 ☎24・8130

加賀立国1200年祭プレフォーラム

「ヒトとモノ、ワザが動く～拠点をつなぐ道・国府所在地の源流～」

とき 11月19日(土)9時30分～16時

ところ サイエンスヒルズこまつ わくわくホール 参加費 無料

小松の地は、弥生時代に北陸を代表する拠点集落・八日市地方遺跡が営まれ、平安時代には加賀国府が置かれるなど、古くから海路と陸路の交差点の役割を担ってきました。

本フォーラムでは、石川、肥前、因幡、備前、越後、加賀の6人の講師による地理的環境に注目した事例報告から、弥生時代に拠点集落を結んでいた「見えざる道」に迫り、国府がその地に置かれた源流を探ります。

定員 130人(先着順)

申込先 埋蔵文化財センター ☎47・5713 ☎47・5715

✉maibun@city.komatsu.lg.jp



▲八日市地方遺跡出土資料 ©小川忠博

小松文化の祭典 リードこまつ2022

とき 11月26日(土)13時40分開演、27日(日)13時開演

ところ こまつ芸術劇場うらら 入場料 無料

伝統芸能や合唱など、市内で活躍する文化団体の皆さんの舞台発表をお楽しみください。今年は滋賀県長浜市、富山県高岡市、福井県越前市の団体がゲスト出演します。出演者などの詳しい情報は広報こまつ11月号でお知らせします。

●展示 11月26日(土)、27日(日)いずれも10時～17時

●ワークショップ 11月27日(日)13時～16時



第11回小松ビジュアル俳句コンテスト作品募集

「俳句」と「絵や写真」を組み合わせたビジュアル俳句を募集します。

募集期間 10月3日(月)～令和5年5月30日(金)

募集部門とテーマ ①歌舞伎のまち小松の部「絢爛」 ②芭蕉の部「時」 ③北枝の部

④能順の部(高校生以下) ⑤曾良の部(英語俳句) ※③～⑤のテーマは自由

投句料 無料 ※各部門1人3点まで

応募方法など詳しくは市ホームページをご覧ください▶



いしかわ百万石文化祭2023とは

「いしかわ百万石文化祭2023」は第38回国民文化祭と第23回全国障害者芸術・文化祭の統一名称です。

各種の文化について全国規模で発表・共演し、障がいのある人もない人も共に参加して、交流の輪を広げていく文化祭です。

今回は「文化絢爛」をキャッチフレーズに令和5年10月14日(土)～11月26日(日)にかけて開催されます。石川県での国民文化祭は、平成4年以来2回目、全国障害者芸術・文化祭は初めての開催となります。



千利休生誕500年・裏千家四代仙叟宗室生誕400年・小松城入城370年記念 特別展「茶 一加賀の茶道と茶業」

加賀前田家三代利常によってもたらされた茶栽培と併せて、加賀の国の文化である茶道と茶業を紹介します。

とき 10月15日(土)～12月4日(日)9時～17時(入館は16時30分まで)

ところ 博物館、錦窯展示館

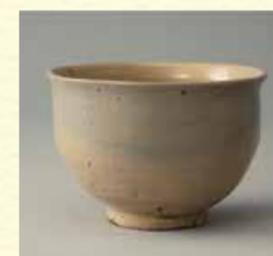
入館料 一般500円(単館300円)、高校生以下無料

※市内在住65歳以上の人は無料(要証明)

休館日 水曜日(祝日は除く)、祝日の翌日



▲九谷焼 花詰蓋物 清水美山作 (鶏声磯ヶ谷美術館蔵)



▲高麗色替茶碗(益田鈍翁旧蔵) (本陣記念美術館蔵)



▲茶畑(矢田新町地内)

同時開催

聞き茶会～加賀茶を愛でる～緑茶と紅茶の饗宴

とき 11月20日(日)、12月3日(土) いずれも13時30分～

ところ 絵本館ホール 夢の本棚

定員 各10人(先着順) 参加費 千円

申し込み 10月15日(土)9時から博物館 ☎22・0714

詳しくはこちら▶



加賀の茶
いかが



※新型コロナウイルス感染症の影響により、内容が変更となる場合があります。